

# ‘THE’の本当の意味

—英語人の考え方から定冠詞を読み解く—

講師：伊藤 笏康（聖徳大学人文学部英米文化学科教授）



日時：平成24年6月16日（土）15:00～16:30

会場：聖徳大学10号館12階（松戸市松戸1169・松戸駅東口徒歩1分）

定員：70名

申込：不要（直接、会場へお越しください）

費用：無料

## 講師から一言：

わたしたちは学校で‘a’は「ひとつの」、‘the’は「その」という訳語を習いました。しかしそんな訳語を知っても、冠詞の使い方はほとんど分かりませんでした。でも、思い出してください。冠詞はもともと日本語には存在しない語です。つまり、日本語は冠詞なしでやってゆける言語なのです。しかし英語はそうではありません。冠詞なしでは成り立たない言語です。ですからわたしたち“日本語人”が冠詞を分かろうとしたら、「英語ではなぜ冠詞が必要なのか」と考えてゆかないといけません。

昨年の10月に、不定冠詞‘a’についてお話ししました。今回はその続編で、定冠詞‘the’の発想を調べてみたいと思います。

## 講師のプロフィール：

農学部出身で、そののち哲学を専攻。本学では現在英語とラテン語を教えている。目下、ネイティブの思考に沿って英語を日本語で教える方法を考えている。

著書：『人間に何が分かるか』（2010, 劉草書房）『言葉と発想』（2011, 放送大学教育振興会）など。

〒271-8555

千葉県松戸市岩瀬550

聖徳大学言語文化研究所（知財戦略課）

電話 047-365-1111（大代）

<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/gengo/>

